

4月の教室・行事予定

日	曜	教室・行事等	～毎月10日は人権を考える日～
2	水	フォークダンス (10:00～12:00) 生け花 (13:30～15:30)	『平成25年度 愛媛県人権ポスター優秀賞』 人権ポスターについて 愛媛県立丹原高等学校1年 三好桃子 私は今年から高校生となり、人との関わりの輪がどんどん広がっています。他人とよりよい関係を築いていくためには、コミュニケーションのとり方を考えること。そして、何よりも「感謝の心」を忘れてはならないと思います。 私は人に感謝の気持ちを伝えるには「ありがとう」という言葉が一番だと思います。このポスターは、人への感謝を表わす「ありがとう」の言葉の雰囲気や伝えられるように描きました。 私にとっての「ありがとう」という言葉は愛があふれていて、人の心をあたたくする大好きな言葉です。この「ありがとう」という言葉が自然に言える人が増えたらいいなという思いを込め描きました。 「ありがとう」があふれる素敵な社会を願っています。
4	金	健康体操 (13:30～15:30) 南子ども会 (19:30～21:00)	
6	日	春祭り子どもだんじり運行 (予定)	
7	月	健康・太極拳教室 (14:00～15:30)	
8	火	茶道 (13:30～15:30)	
10	木	人権を考える日	
11	金	健康体操 (13:30～15:30) 南子ども会 (19:30～21:00)	
12	土	詩吟 (19:00～21:00)	
14	月	健康・太極拳教室 (14:00～15:30)	
16	水	フォークダンス (10:00～12:00) 生け花 (13:30～15:30) 健康相談 (13:30～15:30)	
18	金	愛隣連定期総会・隣保館職員研修会 健康体操 (13:30～15:30) 南子ども会 (19:30～21:00)	
21	月	健康・太極拳教室 (14:00～15:30)	
22	火	茶道 (13:30～15:30)	
25	金	健康体操 (13:30～15:30) 南子ども会 (19:30～21:00)	
26	土	詩吟 (19:00～21:00)	
28	月	健康・太極拳教室 (14:00～15:30)	
29	火	昭和の日 	西条市教育委員会・西条市人権教育協議会



大町会館 だより 4月号

2014年4月 第167号
発行:西条市大町会館
西条市福武甲1644-1
TEL・FAX 55-5393
eメール
omachikaikan@saijo-city.jp

人権対策協議会女性部・大町会館

人権・同和教育合同研修会



藤田栄二先生の話に聞き入る参加者のみなさん

グループに分かれて意見交換

2月27日(木)、人対協西条支部女性部と大町会館利用者との人権・同和教育合同研修会が開催されました。

初めに人対協女性部長さんによる開会の挨拶があり、その後、西条北中学校人権・同和教育主任の藤田栄二先生から「地域で子どもを育てよう」と題して、お話がありました。まず、児童福祉施設「えひめ学園」のドキュメンタリーDVDと学園の子ども達が食入のように見たという「夜回り先生～水谷修」のDVDにより、光の当たらない子ども達や想像を絶する現実に驚きと悲しみをおぼえました。

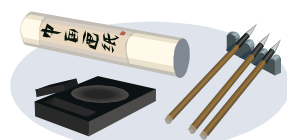
藤田先生は、「子どもが持つ愛情の“コップ”が空になってはいないか?」「子どもの話を十分に聞いているか?」「地域の関わりが、素晴らしい結果を生んだ」経験等々、淡々とお話になり、それが返って子ども達に寄りそう熱意を静かに感じさせました。

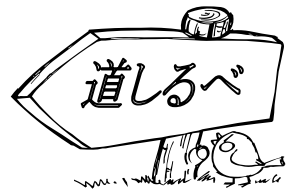
2つのグループに分かれての討議も、時間を忘れるほど一人ひとりが意見を出し合い、密度の濃い時間を共有することができました。

第167回 会館ミニ展示会

『田窪習字教室 作品展』

- ◆日程 平成26年4月4日(金)～25日(金)
- ◆場所 大町会館 玄関ホール
- ◆提供者 田窪習字教室のみなさん





『ハンセン病問題についての学習のススメ』

西条市立玉津小学校 河野 克典

1月、本校でもハンセン病問題についての学習を深めた6年生が、すばらしい人権集会を開いてくれました。一人一役で取り組んだこの集会はパソコンによるプレゼンあり、人権劇あり、歌あり、手話ありと“圧巻”の内容でした。実はこれには「呼び水」があります。11月に同じ西条東中校区の姉妹校、飯岡小学校で行われた「ありがとう集会」（西条出身のハンセン病回復者である松本常二さん、本田久夫さん、お二人からの学びに感謝する集会）に参加した玉津小の6年生の心に火がつき「自分たちもあんな集会を開きたい」と一生懸命学び、発表したのです。

私はその中で一番心に残っている女の子の発表があります。彼女は飯岡小学校の集会の最後にとっても貴重な体験をしました。それはお二人とお別れの握手をしたときのことです。差し出されたお二人の手は病気の後遺症のため指が欠損しています。彼女は思わず手を引っ込めてしまいました。しかし、彼女は「ハンセン病問題についての学習」を進めていく中で、自分のとった行為に大きな後悔の念を抱きます。そして自分の差別心に気づき、自分と向かい合っていました。さらに自分の心の弱さを乗り越え人権集会で自分の中にある差別心について、みんなの前で力強く語ったのです。誰も自分の弱さを隠したいものです。しかしその弱さを克服して「自らを語った」彼女の言葉に私は大きな感動を覚えました。

私は後日このことをお二人にお伝えしました。お二人がこの成長をどんなに喜んでくれたことでしょう。

私はことあるごとに他校の先生方にも『ハンセン病問題』に取り組んでみては？とお薦めしています。でも、二の足を踏んでしまう人や学校があると、「なんてもったいないことを！」と思います。

何故って、ハンセン病問題についての学習は、差別がどのようにして生まれ、固定化し、拡大していくのかという差別の構造と、どうすれば差別が解消に向かっていくのかという道筋を実に分かりやすく示してくれるからです。そしてこのことはひいては同和問題を始め、あらゆる人権問題の解決につながっていくのです。

それなのに、「うちは忙しいから、先生方が新たにに取り組む余裕がない」などという言葉を聞くと、「あ～、この人も人権・同和教育を深める絶好のチャンスを逃しているのが分かってないんだな」とすごく残念に思います。

これまで人権・同和問題についての学習というと、靴の上からかゆいところを掻くような授業実践が多かったのではないのでしょうか？ハンセン病問題にいち早く取り組んだ多くの学校では、そんなぼんやりした霧を吹き飛ばしてくれる優れた実践がたくさん生まれています。子ども達はどんどん意欲的に学習を進めています。

皆さん、一緒に「ハンセン病問題についての学習」に取り組んでみませんか。

《運営協力委員会 開催》

3月5日(水)、本年度最後の大町会館運営協力委員会が開催されました。最初にミニ学習会として、大町小学校の佐伯まなみ先生から大町小学校における人権・同和教育についてお話いただきました。

「なかよしキッズ」というユニークな行動から心と行動の育成を図る取り組みも報告され、学年ごとに成長していく過程の素晴らしさを感じました。

次に本年度の事業報告に移り、人権啓発指導者育成講座（全4回）、長島愛生園への先進地訪問研修、第24回文化祭など、協力委員さんや地域の方々、学校関係者等々、たくさんのご支援・ご協力をいただきました。感謝いたしております。

最後に、今後も共につながって取り組むことの大切さや次年度も継続して会館活動を行うことを確認し、閉会しました。



ふれあい料理教室

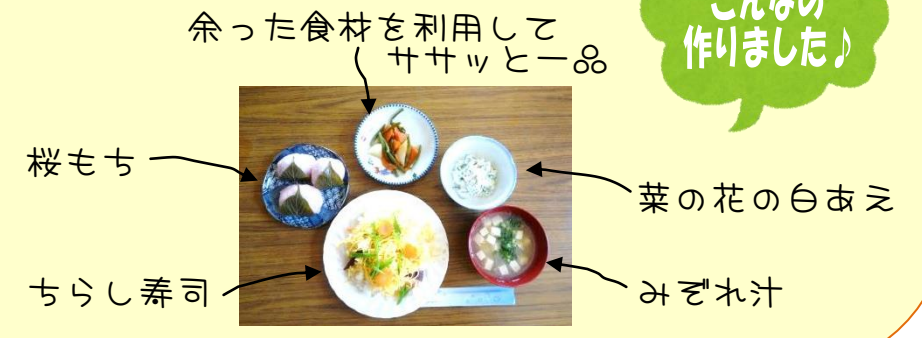
3月8日(土)、ふれあい料理教室を開催しました。高木俊江先生のご指導のもと、季節の食材を使った彩り豊かな「春のごちそう」が出来上がりました。

今年度は、初めて参加してくださった方も何名かおり、「楽しかった。」「勉強になった。」「また参加したい。」等の感想をいただきました。

新年度も様々な内容で計画中です。「こういうのをしてみたい」など、ご意見・ご要望などがございましたら、ぜひお聞かせください！



こんなの
作りました！



余った食材を利用して
「ササッと一品」

桜もち
ちらし寿司
菜の花の白あえ
みぞれ汁

～会館ご利用にあたってのお願い～

- 使用後は、室内の清掃・点検（照明・換気扇・エアコン・窓の施錠など）をお願いします。
- 利用日等の変更や使用が中止になる場合は、事前に会館までご連絡ください。
- 単発での利用の際も、使用許可申請書の提出をお願いします。

みなさんに気持ちよくご利用いただくために、ご協力をよろしくお願いいたします。

